

基礎から応用までわかりやすく解説

液体の微粒子化・粒径制御技術の実際

日時
2018年 3月26日 (月)
10:30 ~ 16:30

税込受講料

1名 48,600円

2名以上1名 45,360円

案内図



飯田橋駅下車 各徒歩約5分
JR中央線(緩行線)
地下鉄東西線(A5出口)
地下鉄有楽町線・南北線(A4・B2a出口)
都営地下鉄大江戸線(A4出口)

<お申込要項>

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX電話、何れかにてお申込ください。
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名住所・連絡先(TEL・FAX・E-mail)をお知らせください。
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかでお願いします。
- ・受講料は講座後のお支払いも対応致します。(個人申込除く)
- ・開催日前14日以降のキャンセルは受けできません。
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

会場 産業科学システムズ会議室(東京都千代田区富士見1-5-1)

液体の微粒子化技術は、自動車のエンジンの燃料噴射、ボディーの塗装から始まり、製造現場の様々な洗浄(機械加工の切粉、食品・医療品の加工設備、医療機器の製造工程)、農薬の散布など、適用分野が拡大しています。特に、液体を流体から粒子に変えることにより、洗浄効率の飛躍的な向上や省量化による大幅なコストダウン、微粒子化による高精度・高精細加工など、近年、その効果と応用が拡大しております。そこで、本講では、微粒子化・粒径制御の技術について、基礎から応用までを平易に解説致します。

講師 八戸工業大学 工学部 機械情報技術学科 教授
工学博士 大黒 正敏 氏

プログラム

- ・はじめに
- ・液体微粒化の科学
 1. 液体の分裂機構
 2. 液体微粒化
 - a. 圧力微粒化 b. 二流体微粒化 c. 回転式微粒化
 3. 噴霧特性の表し方
 - a. 平均粒径と代表粒径 b. 粒径分布 c. 分散量分布
- ・液体微粒化
 1. 液体微粒化技術応用の広がり
 2. 二流体微粒化の応用・高機能化
 - a. 微小粒子の生成と応用 b. 平均粒径の自動制御
- ・噴霧塗装における回転式微粒化研究の展開
 1. 回転円板研究からの展開
 2. 回転ベルカップによる微粒化機構解明
 3. 塗着効率改善の試み
- ・おわりに

質疑応答

お申込・お問合せは

主催 ISS 産業科学システムズ
<http://www.ebrain-j.jp/>

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675
E-mail: education@ebrain-j.com

申込書 FAXは 03-3264-5675

講座参加申込書 液体の微粒子化・粒径制御技術の実際

セミナーコード

1101-180326

太枠内をご記入の上FAX (03-3264-5675) してください。

2018/3/26 ISS

社名	所在地	〒	電話	()
No.	所属部課(正式名称)	氏名	E-mail アドレス	-
			FAX	()
窓口部署			お支払予定	当日ご持参 銀行振り込み
この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト() その他				